

秋田県秋田港および能代港における洋上風力発電プロジェクトの全面商業運転開始について

株式会社秋田銀行（頭取 新谷 明弘）は、特別目的会社「秋田洋上風力発電株式会社」（以下、「AOW」という。）を通じ、丸紅株式会社、株式会社大林組、東北電力株式会社、コスモエコパワー株式会社、関西電力株式会社、中部電力株式会社、大森建設株式会社、株式会社沢木組、協和石油株式会社、株式会社加藤建設、株式会社寒風および三共株式会社と共同で、秋田県秋田港および能代港において、日本国内初の商業ベースでの大型洋上風力発電プロジェクトを進めてきました。

今般、秋田港洋上風力発電所において、2023 年 1 月 3 1 日に再生可能エネルギー固定価格買取制度（以下、「F I T 制度」という。）に基づく商業運転を開始しました。



秋田港洋上風力発電所（提供：秋田洋上風力発電株式会社）

能代港洋上風力発電所については、昨年 1 2 月 2 2 日より同じく F I T 制度に基づく商業運転を開始しており、現在順調に運転中となっています。今般の秋田港での運転開始により、AOWの洋上風力発電所は、全面的な商業運転に入りました。AOWでは、今後 2 0 年間にわたり、能代港を拠点とした運転保守体制のもと、両発電所の運転維持管理を行っていきます。

当行は、「秋田銀行グループ サステナビリティ経営方針」において、「環境課題への対応」を重要課題のひとつとして掲げ、環境価値「Green Values」の創出を推進しております。引き続き事業活動を通じて、地域の脱炭素化に取り組み、持続可能な社会の実現を目指してまいります。

（以 上）



SDGs (Sustainable Development Goals)

2015 年に国連で採択された持続可能な開発目標であり、2030 年までに解決すべき世界的優先課題 17 目標と目標を達成するための 169 のターゲットが示されています。